

2026 年 10 月 16 日

報道関係者各位

EL CAMINO REAL 株式会社

アーティストの創作活動を支援する 「EL CAMINO REAL ART AWARD」表彰式を開催 ～文化・芸術を通じた社会貢献活動～

EL CAMINO REAL 株式会社（本社：東京都千代田区）は、2026 年 9 月 10 日（木）、同社オフィスにて「EL CAMINO REAL ART AWARD」第 1 回・第 2 回の表彰式を開催しました。「あしかがフラワーパーク」を題材とした第 1 回と、「京都 醍醐寺」を題材とした第 2 回から、金賞・銀賞・特別賞の計 6 作品を表彰しました。

本アワードは、作品の表彰と賞金による支援を通じて、アーティストの創作活動を後押しする取り組みです。美術を学ぶ方やアーティストを志す方にも作品を評価される機会を提供し、文化・芸術の担い手としての挑戦を応援しています。

アーティストの創作活動を支える。 EL CAMINO REAL ART AWARD 表彰式



■ 作品を生み出すアーティストを、表彰と賞金で支援

本アワードでは、テーマに沿って制作された作品を募集し、金賞・銀賞・特別賞を選出。受賞者

に賞金を贈呈し、創作活動を経済面からも支援しています。

作品を生み出す過程には、題材との出会いや観察、構図・色彩・素材の試行錯誤があります。完成した作品を表彰するとともに、そうした作家一人ひとりの探究を支えることを大切にしています。

受賞者コメント：https://youtu.be/GytfGxq5PEM?si=btm_myn0MoA7Haqq

■ 受賞作品に見る表現の多様性

花と景観を、作家それぞれの記憶や祈りへ

第1回の受賞作品では、藤の花が異なる表情を見せています。酒井誠氏『宙に咲く』は、暗い背景に浮かぶ藤と星屑を重ね、幻想的な空間を描いています。数宝朱音氏『花龍笑む日』は、盛り上げ胡粉による立体感と琳派の技法を生かし、豊かな花房を表現。月星開理氏『霞から花へ』は、おぼろげな花のイメージが形を持ち始める感覚を、淡い色調と余白で表しています。

第2回では、醍醐寺の自然や歴史、祈りが創作の手掛かりとなっています。幸山ひかり氏『風と土と醍醐の桜』は、土の匂いや風、桜の幹や枝に育つ地衣類から感じ取った、長い祈りの時間を表現。平野早依子氏『A Wish at Daigoji Temple』は、天然の木目を生かした秋の情景に、文化の豊かさと芸術家としての成長への願いを重ねています。ERINA MUKAIJO 氏『醍醐の桜不動紋』は、不動明王や庭園、花々を背一面にまとう「見立て」として構成しています。

共通の題材に向き合いながら、一人ひとりの眼差しによって異なる表現が生まれる。その多様性は、地域の自然や文化の魅力を、新たな視点で伝えるものでもあります。

■ 「EL CAMINO REAL ART AWARD」審査委員長について

本アワードの審査委員長は、サザビーズ日本代表を歴任し、企業による芸術支援や若手芸術家の育成に取り組む、株式会社 AG ホールディングズ代表取締役の柴山哲治氏が務めました。



一橋大学経済学部卒業。三菱商事勤務を経て、ハーバード・ビジネス・スクールでMBAを取得。Rockefeller & Co., Inc. 勤務後、1995年にサザビーズ日本代表に就任。2006年に株式会社AGホールディングズを設立。文化・芸術を中心とした企業の社会貢献活動の企画・運営、企業のアートコレクションの構築・運営支援、若手芸術家の育成などに取り組んでいる。